allcinema

王子と踊子（1957）

THE PRINCE AND THE SHOWGIRL

メディア 映画
ジャンル ロマンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 117分
初公開日 1957/10/05
公開情報 ＷＢ

【解説】

「バス停留所」で演技開眼したとされるモンローがＦＯＸを離れ自身の独立プロで製作、英の名優オリヴィエの監督・主演・共同製作を仰いで完成させた意欲作。だが、彼女の役柄は“踊り子”といつもと変わりなく（いつも以上に魅力的だが）、その点物足りなくもある。２０世紀はじめ、ジョージ五世戴冠式のため、まだ幼い王ニコラスを連れ、ロンドンを訪れたカルパチア国摂政のチャールズ大公（オリヴィエ）のお相手を仰せつかった踊り子エルシー（モンロー）。大公はその夜鑑賞したレビューの彼女をいたくお気に召したのだ。二人きりの晩餐となり、愛の言葉を囁いてみる大公だが、これが余りに陳腐で彼女の失笑を買う。そのうち酒が過ぎて酔い潰れてしまう彼女。翌朝も彼女が邸内にいるのに不機嫌な大公だが、ざっくばらんの彼女を、同じ性質の皇太后はいたく気に入り、従者として式に出席させるから勲章を授与せよ、と大公に言う。名目はなんでもいい。いずれ彼女は王国に貢献するから。その言の通り、幼王と大公の間にあったわだかまりもいつしか、エルシーの大らかさが和らげていた。そして、式も終わり、一族は故国に去ることに。大公は大いに踊り子に思いを残しながら、去っていく彼女を見送る……。そのさりげない別れの淡白な演出に漂わす情感が見事だ。

【クレジット】

監督	ローレンス・オリヴィエ	Laurence Olivier
製作	ローレンス・オリヴィエ	Laurence Olivier
原作戯曲	テレンス・ラティガン	Terence Rattigan
脚本	テレンス・ラティガン	Terence Rattigan
撮影	ジャック・カーディフ	Jack Cardiff
音楽	リチャード・アディンセル	Richard Addinsell
出演	ローレンス・オリヴィエ	Laurence Olivier
	マリリン・モンロー	Marilyn Monroe
	ジェレミー・スペンサー	Jeremy Spenser
	シビル・ソーンダイク	Sybil Thorndike
	リチャード・ワティス	Richard Wattis
	エスモンド・ナイト	Esmond Knight
	マキシン・オードリー	Maxine Audley
	ハロルド・グッドウィン	Harold Goodwin
	ジーン・ケント	Jean Kent
	ダフネ・アンダーソン	Daphne Anderson
	チャールズ・ヴィクター	Charles Victor
	デヴィッド・ホーン	David Horne

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.